様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月12日

群馬県知事　　山本　一太様

提出者　　〒528-8585
住　所　滋賀県甲賀市水口町泉1259

氏　名　セキスイボード株式会社

代表常務取締役　　岩垣　顕

電話番号　0748－62－0073（代表）

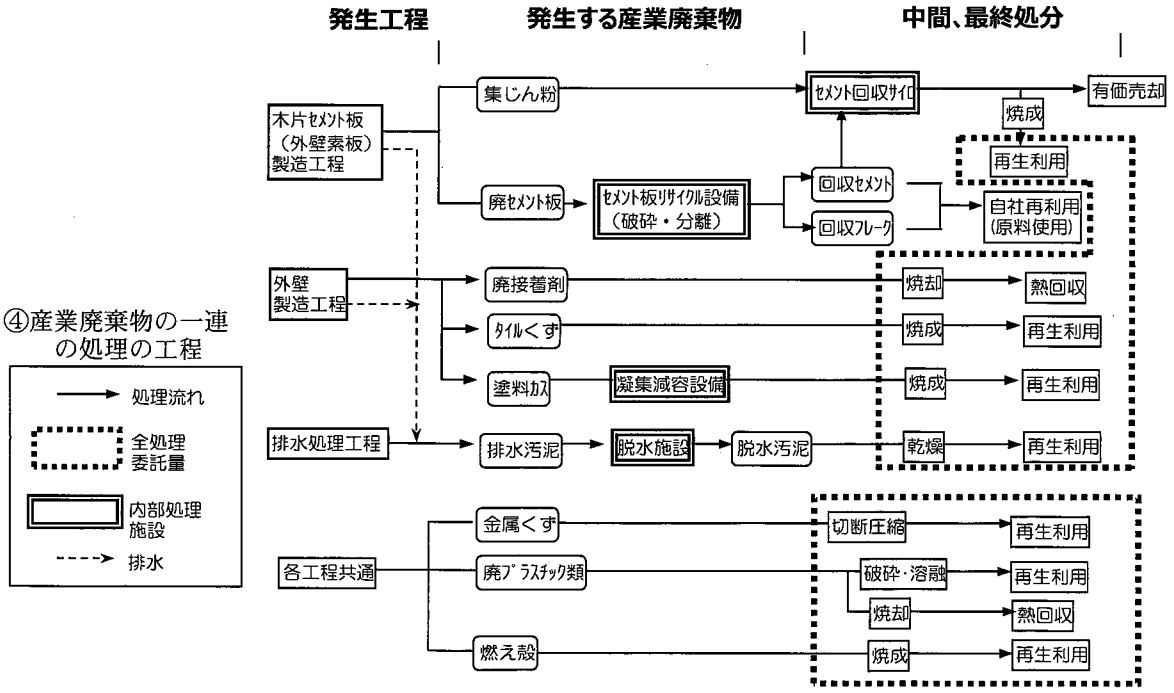
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	セキスイボード株式会社 群馬事業所　　TEL0270-76-2640
事業場の所在地	群馬県伊勢崎市境下渕名54番地
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E21窯業・土石製品製造業　　その他のｾﾒﾝﾄ製品製造業　2129
②事業の規模	製造売上高　5,000百万円/年
③従業員数	55名

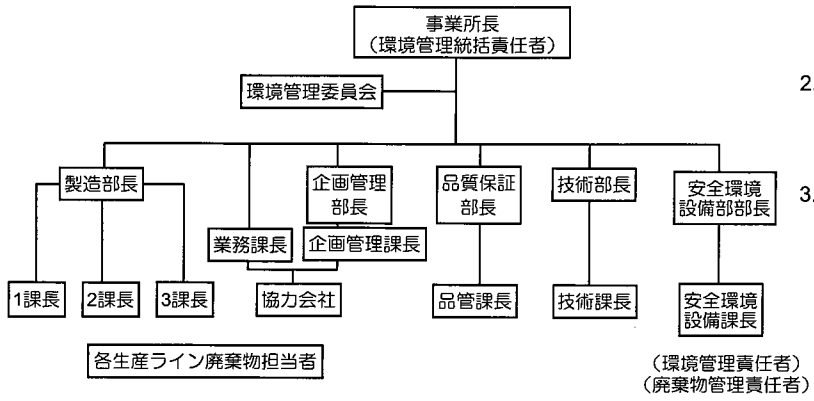
④産業廃棄物の一連の処理の工程



（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



1.管理体制
- 安全環境会議(1/M)でのｺﾐﾆｭｹｰｼｮﾝを通じ、ｽﾑｰｽﾞな情報伝達実施と各部署間の協力体制を推進

2.教育･訓練
- 廃棄物情報(発生量推移、等)を掲示し周知すると共に、雇入時に環境全般及び廃棄物の分別教育を実施

3.情報公開
- 廃棄物の発生状況、分別活動、再生利用状況等の情報は要求都度開示する
- 廃棄物の適正処理のため、関連法規を順守すると共に行政の環境施策に積極的に協力を行う

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和7年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
排　出　量	5,582 t	t

（これまでに実施した取組）

上記種類以外の廃棄物を含めた取り組み実績は
別紙①の通り

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
排　出　量	5,861 t	t

（これまでに実施した取組）

上記種類以外の廃棄物を含めた取り組み計画は
別紙①の通り

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
1) 廃棄物置場に区画を設け、9種類26分類に分けて分別保管。
2) 各部署に分別等管理方法を記載した廃棄物作業標準書を配布し周知。
3) 廃棄物置場を担当が毎日巡回し、持込品不具合時の指導を随時実施。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
1) 継続して、有価物の分別徹底と売却先拡大探索を実施する。
2) 職場暑熱環境の改善により製品不良を削減して廃棄物発生削減を図る。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和7年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>3,699 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
【対象】回収セメント、回収フレーク
製造で発生する外壁材の端材を自社のﾘｻｲｸﾙ設備で破砕･分離し、ｾﾒﾝﾄ粉と木粉の原料として再利用活用の継続実施。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】対前年度比5％削減</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>3,523 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
【対象】回収セメント、回収フレーク
原料としての再利用率を向上させるべく、品質確認と生産方法の検討に取り組む。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和7年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>2,290 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
【対象】汚泥
脱水設備で減量した汚泥を自然乾燥及び乾燥紛を混合して含有水分量を低減してから外部委託実施。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】対前年度比5％削減</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>2,181 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
【対象】汚泥
上記の自然乾燥期間を伸ばして水分量のさらなる低減を図る。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） －		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） －		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	13号廃棄物	
	全処理委託量	2,581 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	133 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,448 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙②の通り		

	②計画	【目標】対前年度比5％削減		
		産業廃棄物の種類	13号廃棄物	
		全処理委託量	2,458 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	127 t	t
		再生利用業者への処理委託量	2,331 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙②の通り		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙①

（第2面）の別紙

①現状 【前年度(令和7年度) 実績 】				②計画 【令和8年度 目標 】	
産業廃棄物の種類	当社呼称	排出量 実績t/年	これまでに実施した取組み	計画 t/年	今後実施する予定の取組み
ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	回収セメント	1,207	1. 用途展開先(土壌改良、汚泥等の水分調整用、等)への有価売却化 2.工場内生産品の原料として再利用	1,150	1.有価引き取り先の拡大 2.原料再利用率の向上
	回収フレーク	981	工場内生産品の原料として再利用	934	原料再利用率の向上
	タイルくず	2,696	1.製造不良品の削減 2.ﾀｲﾙ切断歩留まり向上	2,568	継続
	鋼板外壁	18	製造不良品の削減	17	継続
汚泥	排水汚泥	2,290	内部減容化(土間で自然乾燥+乾燥粉を混合して水分を飛ばす)	2,181	継続
	塗料カス(塊、液体)	180	1.塗装工程の塗料塗着効率改善 2.製造不良品の削減	171	継続
	接着剤	37	1.製造不良品の削減 2.ﾒﾝﾃﾅﾝｽによる設備からの漏れ削減	35	高気温(夏季)における不良削減 (接着剤冷却化によるﾎﾟｯﾄﾗｲﾌ切れ不良の削減)
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	廃ﾌﾟﾗ	7	ﾏﾃﾘｱﾙﾘｻｲｸﾙ化引き取り先拡大	7	継続及び新規有価受け取り先の開拓
	廃ﾋﾞﾆｰﾙ類	46	ﾏﾃﾘｱﾙﾘｻｲｸﾙ可能品の分別徹底	44	継続
燃え殻	燃え殻	145	ﾎﾞｲﾗｰ設備のﾒﾝﾃﾅﾝｽによるﾄﾗﾌﾞﾙ削減	138	継続
木くず	廃ﾊﾟﾚｯﾄ等	74	1.納品ﾒｰｶｰへの返却徹底 2.取扱い丁寧作業による破損防止 3.破損ﾊﾟﾚｯﾄ補修による廃棄削減	70	継続及び新規有価受け取り先の開拓
廃油	廃油	1	設備ﾄﾗﾌﾞﾙ削減	1	－
合計		7,682	t/年	7,316	t/年

＊前年実績比の5%削減を目標として活動を行う

別紙②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

（第4面）の別紙

（第5面）の別紙

廃棄物種類	当社名称	①現状【前年度（令和7年度） 実績 】 排出量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	②計画【令和8年度 目標 】 排出量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
ｶﾞﾗｽくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	回収ｾﾒﾝﾄ	1,737	0	0	0	0	0	1,654	0	0	0	0	0
	回収ﾌﾚｰｸ	1,962	0	0	0	0	0	1,869	0	0	0	0	0
	タイルくず	1,862	1,862	0	1,862	0	0	1,773	1,773	0	1,773	0	0
	鋼板外壁	21	21	21	0	0	0	20	20	20	0	0	0
汚泥	排水汚泥	2,290	208	0	208	0	0	2,181	198	0	198	0	0
	塗料ｶｽ(塊、液体)	180	180	0	180	0	0	171	171	0	171	0	0
	接着剤	37	37	37	0	0	0	35	35	35	0	0	0
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	廃ﾌﾟﾗ	7	7	0	7	0	0	7	7	0	7	0	0
	廃ﾋﾞﾆｰﾙ類	46	46	0	46	0	0	44	44	0	44	0	0
燃え殻	燃え殻	145	145	0	145	0	0	138	138	0	138	0	0
木くず	廃ﾊﾟﾚｯﾄ等	74	74	74	0	0	0	70	70	70	0	0	0
廃油	廃油	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0
合計（t/年）		8,362	2,581	133	2,448	0	0	7,964	2,458	127	2,331	0	0

＊前年実績比の5％削減を目標として活動を行う